

令和元年度『扶桑風韻』漢詩大会

最優秀賞作品

栖竹 高山 一雄（山梨県）

沙上月明

悲風吹渡駐征鞍

悲風 吹き渡りて 征鞍を駐む

塞外無人天地寛

塞外 人無く 天地寛し

舊鬼啾啾是何處

旧鬼 啾啾 是れ何れの処ぞ

唯看青海月光寒

唯だ看る 青海の寒きを

令和元年度 『扶桑風韻』 漢詩大会

優秀賞作品

景秀 小林 一郎 (徳島県)

中秋賞月

中秋待月坐窗前

中秋ちゅうしゅう 月つきを待まちて 窓そう前ぜんに坐ざす

隱兔藏蟾冥晦天

兔とを隠かくし 蟾せんを藏かくす 冥めい晦かいの天てん

風伯拂雲酬此夜

風ふう伯はく 雲くもを払はらいて 此この夜よに酬むくゆ

清光滿地布銀氈

清せい光こう 滿まん地ち 銀ぎん氈せんを布しく

令和元年度『扶桑風韻』漢詩大会

優秀賞作品

琴泉 小林 順子（大阪府）

山寺觀楓

來訪深山古凡宮

來訪す 深山の古凡宮

鐘聲隱隱度秋穹

鐘聲 隱隱として 秋穹を度る

青娥染出楓林景

青娥 染め出す 楓林の景

輝映夕陽風亦紅

夕陽に輝映して 風も亦た紅なり